

高校生の音楽 1

27

教芸

音I

702

令和4年度
高等学校用教科書 音楽I
(令和4教 内容解説資料)



改訂のコンセプト

自分の感性を 軸にして学びます。

これまでの経験や学習で培われた自分自身の感性を学びの軸とします。

知識・教養をもとに 音楽を捉え直します。

幅広い知識と教養に触れ、自分なりの考えをもつことを目指します。

体験活動を通して実感を 伴った学びを促します。

自分の体を実際に使って、感じ取ったことを学びにつなげます。

他者との対話を通して 学びを深めます。

考えたことや感じたことを他者と共有し、さらに学びを深めます。

4
5

表現とは、 頭と体を使った他者との対話



人間は、どうしたって他者と生きていかなければならない。一人一人が、それぞれの環境のなかで色々なものを抱え、時には折り合いがつかず苦しむこともあるかもしれない。

僕が表現活動をするうえで一番重要だと思っているのは、そのような社会のなかで、自分自身が何に興味をもっているのか、何を美しいと思っているのか、という個人的な感性を大事にすること。

自分の感性を軸に、自分の頭で物事を捉え直し、自分の体を動かし、他者と対話しながら、作品をつくりあげていく。

万人受けだけを求めるのではなく、今誰かが抱えている個人的な問題意識に大きく響くような、そんな表現活動をしていきたい。

森山未来

もりやま・みらい
1984年、兵庫県生まれ。5歳から様々なジャンルのダンスを学び、15歳で本格的に舞台デビュー。2013年には文化庁文化交流使として、イスラエルのテルアビブに1年間滞在、インバル・ピント&アヴシャロム・ポラックダンスカンパニーを拠点にヨーロッパ諸国にて活動。舞台、映像、パフォーマンスなどのカテゴリーに縛られない表現者として活躍。



"Wallflower" by Inbal Pinto and Avshalom Pollak
Photographer: Rotem Mizrahi

(教科書p.4-5)

また、学習指導要領の改訂に伴い、以下の5つのポイントに考慮して編集しました。

- ①主体的・対話的で深い学びの実現を目指しました。
- ②生活や社会の中の音や音楽の動き、音楽文化についての理解を深める学習の充実を目指しました。
- ③生きて働く「知識・技能」の習得を目指しました。
- ④未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を目指しました。
- ⑤学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養を目指しました。

①主体的・対話的で深い学びの実現を目指しました。

(教科書 p.50-51)

- 「音楽って何だろう？」という問いかけを出発点として、主体的な学び、対話的な学び、深い学びの実現を目指します。

音楽 What is music? 音楽って何だろう?

音楽って何だろう？——これは他の人に対する問いかけではなく、自分自身への問いかけである。今はこう思っているが、これからも同じように考えるのだろうか。自分はこう思っているが、他の人と同じだろうか、それとも異なっているのだろうか。自分自身と他の人との対話を通して、音楽について考え、そして考える前に共に表現して体験して、あなた自身の答えを探してほしい。



解説・プロフィール

久保田慶一(音楽学者)

<p>孔子 思想家</p> <p>Confucius</p> <p>音楽は、人間を完成させるもの。</p>	<p>アウグスティヌス 哲学者</p> <p>Augustinus</p> <p>音楽とは、音を良く動かす知識である。</p>	<p>ジョン・ブラッキング 音楽学者 社会人類学者</p> <p>John Blacking</p> <p>音楽とは、人間が組織つけた音である。</p>
<p>坂本龍一 音楽家</p> <p>Ryuichi Sakamoto</p> <p>耳を傾ける行為が、音楽なのです。</p>	<p>一噌幸弘 能楽師</p> <p>Yukihiro Issu</p> <p>音楽とは、至高の言葉。</p>	<p>椎名林檎 音楽家</p> <p>Sheena Ringo</p> <p>音楽とは、耳から振る栄養です。</p>

50 混声合唱とオーケストラのためのカンタータ 土の歌

大木惇夫作詞
佐藤 眞作曲

カンタータ《土の歌》は、(大地讃頌)を含む全7楽章からなる混声合唱曲です。ここでは、混声合唱とオーケストラの表現に

52

第五楽章 (天地の怒り)

雷だ
いなづまだ
嵐だ 雨だ
洪水だ

上手が崩れる
崖が砕ける
橋が流れる
樹も垣も
根こそぎにされる
濁流が
家を呑む
人をさらう

地上に山脈があり 地の
地の下に燃える火があり
地上に絶えずかぶさる人
地の下のなげきは深い 長

51

第二楽章 (祖)

ああ 踏んでみ
寝ころん
たしか
あま
土の尊さ
大空の
高き
山
さくらの
花さく丘
顔上げて
堂々と
この土を
祖国の土

Step 3 全楽章を通して聴き、カンタータ《土の歌》にどのような思いが込められているのかを話し合おう。

Step 4 Step①～③を踏まえながら、(大地讃頌)のもつ意味や役割を考え、どのように合唱表現に生かしたらよいかを話し合おう。

<p>レニス シンガーソングライター</p> <p>Reniss</p> <p>音楽は生命。 Music is life.</p>	<p>サブトノ シワカラシ演奏家</p> <p>Saptono</p> <p>音楽は、心と感情から生まれ、同じ心と感情のために捧げられる音の芸術です。</p>	<p>ボリス・ベルナル イタラケ奏士</p> <p>Boris Bernal Mansilla</p> <p>音楽とは、笛の音を使って人の心に人生の足跡を刻むこと。</p>
<p>山田うん ダンサー</p> <p>Un Yamada</p> <p>音楽とは、風の形をした、もっつりの人間の姿である。</p>	<p>古川日出男 作家</p> <p>Hideo Furukawa</p> <p>音楽とは、目を閉じても見える色彩を持った、人間の友だちです。</p>	<p>ヤマザキマリ 漫画家</p> <p>Mari Yamazaki</p> <p>音楽とは、言葉には置き換えられない感情の辞書である。</p>
<p>小堀美由子 茶道家</p> <p>Fuyuko Kobori</p> <p>音楽とは、自分を形づくるもの。</p>	<p>石川佳純 卓球選手</p> <p>Kasumi Ishikawa</p> <p>音楽は、背中を押してくれるもの。</p>	<p>隈研吾 建築家</p> <p>Kengo Kuma</p> <p>音楽とは、物質と身体との会話である。</p>

作詞者 大木惇夫について

大木惇夫(1895～1977)は、広島県生まれの詩人、翻訳家、作詞家。幼少期からすでにロシア文学などに親しみ、高校時代には与謝野晶子、若山牧水、三木露風の詩に影響を受けて短歌の創作を始めている。北原白秋に認められた処女詩集『風・光・木の葉』でデビューした大木は、昭和初期には日本を代表する詩人と見なされていた。山田耕筰は、大木の詩に基づく歌曲を多数書いている。太平洋戦争中、大木は陸軍の宣伝班員として徴用され、ジャフ戦線に送られた。死と直面する戦地で書かれた詩集『海原にありて歌へる』は熱狂的に支持され、その中の『戦友別れの歌』は特に多くの人々の感動を呼んだ。戦時中、求められるままに戦意高揚の詩を発表し続けたこととなる。戦後、大木はジャーナリズムから避けられることとなる。そうした日々の中、大木は子ども向けのラジオドラマ番組の制作に関わったり、自ら雑誌『詩の座』を刊行したりした。また、浄土宗増上寺より、経典『六時礼讃』の和訳の依頼を受ける。1962年からは、2年の歳月をかけて『キリスト詩伝』の執筆に没頭した。『土の歌』を作詩したのもこの頃である。1965年には15冊目の詩集となる『失意の虹』を刊行し、1967年には、紫綬褒章を受章する。その後は『歌集詩伝』の執筆に晩年のほとんどを費やした。

作曲家 佐藤 眞のことは

——大木先生はたいへん朗読が上手でした。詩が出来上がってくるとご自身で読んでくださるのですが、これは見事なものでした。「恩寵」とか「おお、神よ」「時計台が崩れる」などという言葉を大木先生が読むと、実に濃厚で独特な雰囲気と迫力がありました。我々が読むと平凡で平坦な感じになってしまうのですが、あの朗読の重みは印象に残っています。(大地讃頌)は独立した曲として演奏できるようになっているので、そういう取り上げ方をされてももちろんかまわないのですが、これは、7曲から構成されているカンタータ《土の歌》の最終楽章でもあります。(地上の折り)が「ジャー」と終わって、この曲の前奏が「サワサワ」と鳴り出すわけです。あの「サワサワ」といった感じは、ピアノでは出せないで、ピアノ版では全然違う形にしたのです。できればオーケストラ版も聴いていただいて、そういうところに位置するんだなあ、7曲全体の中の意味や役割を少しでも知っていただければ幸いです。

●佐藤 眞(1938～)は、茨城県生まれの作曲家。東京芸術大学音楽学部専攻科修了。日本音楽コンクール作曲部門第1位及び特別作曲賞(1961)、芸術祭賞、トリノ市賞、イタリア賞グランプリ、芸術祭大賞(1983年、文化庁主催)、下総統一音楽賞(1990)など多数受賞。主な作品に、混声合唱のための組曲《魔王》、混声合唱のための組曲《旅》、オペラ《暁》などがある。

- どの部分に注目して学習を進めたらよいか、話し合ったらよいかを具体的に示し、主体的・対話的な学びを促します。

- 他にも……
- 教材を深く理解するための資料を適切に配置し、音楽的な深い学びを促します。
- 例：教科書 p.40-41 《菩提樹》

- ある音楽についての理解を深めるとともに、その音楽が生まれた社会のあり方についても学び、深い学びを促します。
- 例：教科書 p.56-57 ガムラン 《ランチャラン マニャルセウ》

(教科書 p.2-3)

②生活や社会の中の音や音楽の働き、音楽文化についての理解を深める学習の充実を目指しました。

●それぞれの音楽が、生活や社会の中でどのような意義や役割をもっているかを学び、音楽的視野を広げます。

音楽旅行記

地球の裏側の音楽を求めて～ボリビア～

大学1年生の夏、世界の音楽について調べていたとき、地球の裏側の南米ボリビアにイタラケという音楽があるのを知った。長さの違う籐を束ねた管楽器のシークと、丸太をくりぬきヤギの革を張った打楽器のボンボで演奏されるらしい。楽士たちはボンボを肩から掛け、シークを手に持って同時に演奏し、人々はそれに合わせて踊るといふ。インターネットで動画を見て、どうしても生のイタラケに触れたいとなり、実際に行ってみることにした。



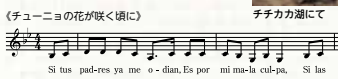
ボリビアまでの道のり



中心都市ラパスの風景

1日目 日本から飛行機を2回乗り継ぎ、40時間かけて到着したのは、ボリビアの中心都市ラパス。標高が3700mで空気が薄く息が苦しい。こんなところで笛を吹いたらすぐに息が切れてしまう気がする…。街で見つけた楽器屋さんで、「イタラケを見に行きたい」と、何度も練習して覚えたスペイン語で伝えると、「チチカカ湖方面行きバスに乗れ」と言われた。

飛び乗ったバスは何と日本製の中古車で、チチカカ湖沿岸を進んでいく。途中からデコボコの砂利道になり、とても揺れた。車内では音楽が流れていて、運転手にタイトルを尋ねると、恋人が戻ってこない悲しみを歌った《チューニョの花が咲く頃に》という歌のこと。「チューニョの花」ってどんな花だろう？



《チューニョの花が咲く頃に》

出発から5時間半後、村に到着。出会った村の人に今回の旅の目的を話すと、最初はびっくりしていたけれど、温かく迎えてくれた。すぐにでも音楽が聴きたかったが、イタラケは年に数回のお祭りの日にしか演奏しないとのこと。残念に思ったのもつかの間、何とちょうど2日後が、そのお祭りの日だった！お祭りの日まで、村に1つしかない学校の教室に泊めてもらえることになった。

その晩、村の人がスープを作ってごちそうしてくれた。あまりにもおいしいので、何のスープか尋ねると、答えはチューニョのスープ！どうやら「チューニョ」とは冷凍乾燥ジャガイモのことらしい。一度、冷凍乾燥させたジャガイモに花は咲かない。バスで聴いたあの歌は、悲しく、何ともやり切れない歌だったのだ。



市場で見つけたチューニョ

2日目 村をぶらぶらしていると、シークを作っている人が！演奏をする人は、みんな自分でシークを作るそうだ。シークは、楽隊の一番偉い人が持っているシーク用のものさしを基準にして長さを決める。「この長さがびつたり合わない」と、音程がずれて、音楽がきれいに響かなくなる」と教えてくれた。そして、完成した楽器は、音楽の精霊が住むという洞窟のそばで、夜通し演奏することで命を吹き込む必要があるのだそうだ。



お祭りに向けてシークを作る村人



演奏しながら頂上に向かう人々

踊りながら楽しむ人々



ついでにお祭り当日！まずは近くの山に、重いボンボをかついで登り、頂上でかがり火を焚いて儀式を行う。このときに演奏される音楽は、どこか荘厳な感じがした。村の人の言葉が全部分かったわけではないが、その年のジャガイモの豊作を祈っていたようだ。頂上から眺めるアンデス高原はとても広大で、遠いところまで来たなあ、という感慨があった。しかし一方で、火を見てみると、何となく日本のお盆を思い出したりして…

山を下りて会場を村の広場に移すと、人の多さにびっくり！周りの村々からもたくさん来ていたらしい。ここで音楽は、儀式のときよりもずいぶんにぎやかな感じがした。聴いていると、リズムが「読んでいる」ようでちょっとおもしろい。不思議に思いつつも、誘われるがまま一緒に踊ってみると、音楽がステップによく合っており、とても心地よく感じられる。言葉ではうまく言えないけれど、「なるほど、そういうことか」と体で理解することができた。ここでは、老若男女、みんなとても楽しんでいた。

4日目 お祭りの翌日、村の人たちにお別れを言いに行くと、村の人たちは口々に「また来年もお祭りのときにぜひ来てくれ」と言ってくれた。村長は、古い写真を取り出して、「これは私の父が若かったときの写真だよ。この時代から、本当にごく最近まで、イタラケの音楽は下等な文化と言われて差別され、私たち自身も自分たちの音楽に誇りをもてなかったんだ。だから、遠いアジアから君のような人が来てくれてとても嬉しかったよ、ありがとう」と言った。そして「プレゼントだよ」と言って、1枚のDVDをくれた。「最近みんなで撮影したんだ。インターネットでも見られるけどね。時代も変わったよ」と笑った。ラパスに戻ってからそのDVDを見てみると、それはまさにこの旅のきっかけになった映像だった！

不思議なリズム

↑のところを少し急いだ感じで演奏しているのが、何とも言えない味わい深さをつくり出している。



1970年代の写真

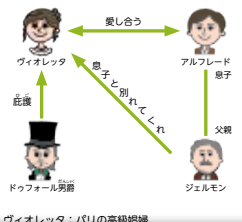


最後に村のみんなと…

オペラ 椿姫 La traviata ヴェルディ

オペラ《椿姫》は、19世紀に活躍したイタリアの作曲家ジュゼッペ・ヴェルディの代表作です。19世紀半ばのパリを舞台にした、高級娼婦と青年の恋の悲劇です。ヴェルディが描こうとした登場人物の心情や、当時の社会背景を理解して、オペラならではの表現を感じ取りましょう。

●主な登場人物



●あらすじ

19世紀半ばのパリ。ヴィオレッタは人気的高级娼婦だが、日々遊び暮らす生活で不治の病にかかっていた。そんな彼女に、青年アルフレードは真心のこもった愛を打ち明ける。ヴィオレッタは夜の世界から身を引く、パリの郊外で彼と同棲を始める。そこへアルフレードの父ジェルモンが現れ、世間体にならざるから別れてくれと迫る。ヴィオレッタは泣く泣くジェルモンの説得を受け入れ、理由を告げずにアルフレードのもとを去った。突然の絶縁状に怒り驚くアルフレードは、夜会の場で彼女を侮辱する。やがて、父から真実を知らされたアルフレードは、ヴィオレッタのもとへ駆けつけるが、彼女の病は進み、やがて息を引き取る。

●第2幕フィナーレ～それぞれの思い～

アルフレードのもとを去り、以前のパトロン、ドゥフォーール男爵と一緒にいたヴィオレッタ。アルフレードは2人が夜会に行くことを知り、その場に駆けつけます。彼女の態度を誤解したアルフレードは、皆の前で金を投げつけ、彼女を侮辱します。ヴィオレッタは絶望しますが、ジェルモンとの約束で真実を打ち明けることができません。悲しみに暮れるヴィオレッタは、アルフレードへの愛を歌い始めます。彼女に同情する一同、軽率なふるまいを後悔するアルフレード、ヴィオレッタの心の中を思いやるジェルモン、皆がそれぞれの思いを同時に歌います。大勢が一度に自分の気持ちを表現するというオペラならではの表現を、じっくり味わいましょう。



東京二期会オペラ劇場 (椿姫)から

Velocissimo

♪Velocissimo: とても速く

《ラトラヴィアータ》=道を誤った女

《椿姫》の原題(La traviata)は、「道を誤った女」という意味である。女としての道を外れた女、つまり娼婦が主人公であることを暗示している。当時の結婚は、親が決めて家同士であるもので、身分違いの結婚は許されなかった。娼婦はほぼ全員が身分の低い階層の出身だったので、親としては許すわけにはいかない。《椿姫》のテーマは、原作者のデューマ・フィスにとっても作曲したヴェルディにとっても、身近であった。デューマ・フィスは実際にパリの有名娼婦と恋愛し、彼女が結核で亡くなった後に、自分の体験を美化して小説にしており、ヴェルディも作曲当時、かつて複数の男性との間に何人もの私生児をもうけた元ソプラノ歌手と恋愛し、そのことで生まれ故郷のイタリアの田舎町では白い目で見られていたからである。

(《椿姫》のモデルとなったマリー・デュプレシ(1824-1847))

●作品が生まれた当時の社会の価値観に触れ、音楽の文化的・歴史的背景について深く理解し、充実した鑑賞活動につなげます。

他にも……

●社会にメッセージを投げかける楽曲の学習を通して、音楽のもつ働きについての理解を深めます。

例：教科書 p.10-11 《魔法みたいに》

●世界各地のさまざまな音楽のあり方に触れ、「音楽とは何か」について考えを深めます。

例：教科書 p.54-55 「音楽って何だろう? ②さまざまな音楽のあり方」

③生きて働く「知識・技能」の習得を目指しました。

- 楽器の基本的な奏法を身に付けるために、無理なく楽しみながら取り組める楽曲を厳選しました。

Happy Birthday To You P.S.ヒル, M.J.ヒル 作詞・作曲
吉木宏幸 編曲

メロディー、和音、ベースライン、それぞれのパートを練習しながら、ギターの基本的な奏法を学びましょう。
また、コードの弾き方を身に付け、弾き語りにも挑戦しましょう。

クラシックギターの構え方

右手の指番号
a m i

左手の指番号
1 2 3 4

チャレンジ メロディー、ベースライン、和音の各パートに分かれて合奏しよう。
下のダイアグラムを見て、G、D7、Cのコードのポジションを見えよう。
下のパターンを繰り返して、左手のポジション移動を練習しよう。
右側のPの指で弾きまよう。
チャレンジ 左ページの楽譜を見て、コードを弾きながら歌おう。

(教科書 p.22-23)

- 日本の伝統音楽の鑑賞教材では、鑑賞にも役立つ体験活動を取り入れ、実感を伴う学びを促します。

【高砂】の舞

能の演目の多くは、シテの舞が見どころの一つになっています。
〔高砂〕でも終盤の神様の舞は見応えのある場面です。その舞には、千年の繁栄をたたえ、長寿への祝福が込められています。「万年も生きる相生の松に吹く風は、勢いよくふかき音を立て、松風の轟然たる音こそはいかにもふかき音である」と舞います。
舞の部分では、「呂」「中」「半」「千の中」という4つのフレーズからなる「呂中千」という旋律を繰り返し演奏します。「呂中千」は、多くの節が使われる舞の典型的な形式の一つです。舞い手によってテンポを変えますが、中でも（神舞）はテンポが速く、風爽と演奏されます。
〔呂中千〕の編曲を覚え、〔高砂〕の後場を鑑賞しましょう。

【呂中千】の編曲を覚えよう

〔呂中千〕の楽譜を参考に拍子を取りながら笛の編曲を聞いてみましょう。

能（能管）
全長約39cm。笛孔は7孔。形状は萬葉とよく似ているが、管内側に「能」といわれる短い竹管が挿入されており、独特な音色を生み出す。
打物
大鼓 △…強く打つ音
小鼓 ○…弱く打つ音
掛鉦声 ヤ、ヤ……実際に「ヨ」と発音
ハン、ハン…実際に「ホン」と発音
ハ、ハ…実際に「ホ」と発音

能の大成者、世阿弥

世阿弥の父、観阿弥は絶大な人気を誇る天才的な役者であった。父の方針で英才教育を受けた世阿弥は、12歳で連歌を詠み、童謡が得意な青少年に育つ。そして、將軍足利義満のお気に入りとなり、將軍家や貴族向けに『源氏物語』『伊勢物語』『古今和歌集』など、古典に基づいた優美な作品を書き、当時流行していた『平家物語』を琵琶法師が詠むときの音楽からも題材をとって、義経を主人公とした〔八島〕〔教説〕など、勇壮な作品をつくった。p.141 鑑賞

世阿弥は、せりふだけでなく歌でストーリーをつくり、クライマックスで舞を舞う歌舞劇をつくり上げた。世阿弥の自筆譜を見ると、旋律やリズムの指示も書き込まれていて、驚くべきことに音楽の骨格が現在もほぼ変わっていないことが分かる。「能の本（脚本）を書くこと、この道の命なり」と記した自筆の伝書に残されているが、晩年は將軍家の愛顧から外れ、佐渡に流されてこの世を去った。人生の機微を細やかに描いた世阿弥の作品は、600年以上たった現在でも上演され続けている。

(教科書 p.62-63)

(教科書 p.128-129) (教科書 p.130-131) (教科書 p.132-133) (教科書 p.134-135) (教科書 p.136-137)

- 古代ギリシャから現代まで、西洋音楽がどのような変遷を遂げてきたかを学習し、実際の鑑賞に生きる知識を身に付けます。

他にも……

- 創作教材では、自分の思いや意図を出発点として、他者と意見交換をしながら作品をつくり、音楽的感性を育みます。
例：教科書 p.28-31 「詩、短歌、俳句をもとにして音楽をつくろう」

④未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を目指しました。

●「音楽って何だろう?」という問いに対する考えを深めるためのさまざまな視点を掲載しました。

音楽って何だろう? ① 頭の準備体操

音楽って何だろう?
この問いに答えるのは簡単ではありません。
この問いに対する答えは、言語、文化、時代によって、あるいは人によってさまざまだからです。
ここでは、下のワークシートを使って自分なりの考えを探りましょう。
また、右ページの2つの例を参考にして、問いについての考えを深めましょう。

Step 1 次のA~Iは、音楽だといえるだろうか。あなたが考える「音楽」のイメージにぴったり当てはまる場合は5、全く当てはまらない場合は1として、それぞれに○を付けよう。また、その理由を簡単に書こう。

	5	4	3	2	1	理由
A 波の音	○	○	○	○	○	
B ウグイスの鳴き声	○	○	○	○	○	
C 蒸気機関車の走行音	○	○	○	○	○	
D 風鈴の音	○	○	○	○	○	
E 学校のチャイム	○	○	○	○	○	
F 読経	○	○	○	○	○	
G 応援するときの三三七拍子	○	○	○	○	○	
H 「もういいかい」「まあだだよ」	○	○	○	○	○	
I 楽譜	○	○	○	○	○	

Step 2 あなたが考える音楽の目的を5つ書こう。また、それぞれの具体例を挙げよう。

目的	具体例
①	
②	
③	
④	
⑤	

Step 3 Step①と②を踏まえて、「音楽とは何か」に対する自分なりの考えをまとめよう。

音楽とは _____ である。

全く音を出さない演奏者

ピアニストが舞台上で登場し、ピアノの椅子に座って、鍵盤の蓋を閉める。1952年に初演されたジョン・ケージ作曲の(4分33秒)は、このようにして始まりました。ピアニストは何も弾かず、第1楽章が終わると蓋を開け、続いて閉めて第2楽章、また開け閉めして第3楽章、最後に蓋を開けて終わり。これが記録に残る初演の様態です。

ケージは、「音でも出さないかもしれませんが、私は沈黙を一つ一つ書き込んで曲をつくったのです」と述べています。彼の言う「沈黙」は、「音がないこと」ではなく「音を出さないこと」を意味しています。初演に集まった人々は、演奏者が全く音を出さなくても、森へと開け放たれた扉から、風が木々を揺らす音、雨が屋根をたたく音、会場内のうろたえた聴衆のつぶやきや抗議の声へと高まっていくのを聞いたはずなのです。

●(4分33秒)を実際に演奏して、演奏者や聴衆の立場から、感じたことや考えたことを話し合おう。

美しい響きと旋律、けれども「音楽」ではない

イスラムでは、歌や楽器の演奏の是非について古くから宗教的な議論が繰り返されてきました。現在でも、「イスラムは音楽を忌避している」と言われることがあります。しかし、実際に耳を澄ませると、イスラム社会からは非常に豊かな「音楽のようなもの」が聞こえてきます。聖クルアーン(コーラン)の朗誦も、礼拝の時を告げるアザーンも、礼拝の開始を告げるイカーマも、極めて旋律的に聞こえます。一体これはどういうことでしょうか。

実は、イスラムでは、クルアーン(コーラン)の朗誦やアザーンを「音楽」とは見なしていないのです。そこに音楽的要素が認められても、彼らにとっては、決して「音楽」ではないのです。

アザーンを読み上げる様子

ミナレット

アザーンは通常、モスクに付設されている塔(ミナレット)から告げられる。現在では、スピーカーを通して流されることも多い。

音楽って何だろう? ④ リズムについて

リズムとは、音楽の時間的なまとまりをつくり、区分したりするものです。まとまりをつくり区分したりする方法は、時代や文化によってさまざま、一言で言い表すことは困難です。ここでは、拍と拍子のあり方に基づいて分類した3つのリズムを参考に、リズムについての考えを深めましょう。

拍は、音楽の流れの中で、等間隔で繰り返される最小のまとまり。

無拍のリズム

有拍有拍子のリズム

明確な拍と拍子が感じられます。拍子をつくる方法には、大きな時間の単位を2分割ないし3分割してつくる方法と、小さな時間の単位を足し合わせてつくる方法があります。ここでは、前者を「分割してつくる拍子」、後者を「付加してつくる拍子」と呼びます。

分割してつくる拍子

音楽って何だろう? ③ 音楽の向こう側にあるもの

音楽が生まれて、人に届くまでには、たくさんの人やテクノロジーが関わっています。印刷、録音、放送、コンピュータなどのテクノロジーの発展によって、音楽は大量複製されるようになり、音楽を生む人と、音楽を聴く人との距離はどんどん遠くなりました。同時に、あだに関わる人も増え、音楽が個人に届くかたちもますます多様化しています。

現在では、インターネットをひらけば、すでにこの世にいない人の演奏や、地球の裏側の演奏を聴くことができます。

●自分の好きな楽曲を1つ取り上げて、その楽曲に関わりのある人・団体やテクノロジーなどを調べ、そして、音楽の向こう側にある歴史や当時の社会状況などの背景を想像したり、調べたりしよう。

3拍子の例

●《メヌエット》ベツォルト作曲
メヌエットは、17世紀から18世紀にかけてフランスの宮廷で流行した3拍子の優雅な舞曲で、男女のペアで踊られます。組曲や交響曲にも採り入れられました。

●《アフィオン地方の踊り(トルコ)》
トルコの民俗舞踊は、付加してつくる拍子が特徴的で、1曲の中で、次々と拍子や速度を変化させることもあります。ここに挙げた踊りは、2+2+2+3の9拍子です。

フラ ハワイ諸島の歴史を伝える歌文化

フラは、特定のビートと結びついた数種類のステップにのせて、自然界の動きを模倣した身振りをを用い、口承で受け継がれてきた歌に即して踊られる、極めて様式的な踊りです。古代ハワイ社会においては、神々や首長をたたえるために踊られ、世俗の生活と切り離された特殊な状況で、マハ(魔力)を高めたが

カヒコ

カヒコは北アメリカの観光地として整備される中、女性性が強調された「楽」になりました。

カヒコは、西洋文明の影響を受けたスタイルを「現代フラ(アウアナ)」と分類されました。フラが観光化された後、評価基準が明確で、古代の先住ハワイ文化への関心も高まり、研究が進んでいます。手段として披露されることも少なくありません。

南インドの三楽聖

南インドの三楽聖は、まるで人間のようにも感じられます。神像を美しく飾り、大切な神像の一つです。彼らは、寺や各家の祭壇の前で名前を呼んだり、その徳をたたえたりする信徒

宗教劇「ラースリラー」終了直後の様子

宗教劇「ラースリラー」終了直後の様子

ル・バクタールの手の舞

ル・バクタールの手の舞

Op.62, Op.64, Op.66, Op.54, Op.55, Op.56, Op.58

他にも……

●新しく習得した知識を楽曲の理解に生かし、理解したことを表現活動につなげます。
例：教科書 p.16、17《野ばら》(シューベルト/ヴェルナー)

●即興演奏しながら組み立てていく音楽に挑戦し、その面白さや難しさに触れ、合奏を楽しみます。
例：教科書 p.24-25「ホローポによるリズムゲーム」

⑤ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養を目指しました。

自分や他の誰かを勇気付ける音楽の力に触れ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養います。

交響曲第9番 第4楽章 Sinfonie Nr.9 ベートーヴェン

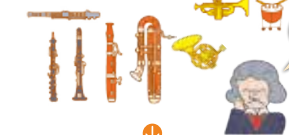
《交響曲第9番》は、第4楽章にシラーの頌歌「歓喜に寄す」に基づく独唱と合唱を伴った交響曲です。ベートーヴェンはこの交響曲で、器楽による表現だけでなく声楽による表現を加えることで、より壮大な音楽の世界を表現しようとした。

第4楽章の前半では、第1楽章から第3楽章までの主題がオーケストラのみで回想され、それに続いて「歓喜のメロディー」が演奏されます。ベートーヴェンのスケッチ帳に残されたメモを参考にしながら、この部分を聴きましょう。

第4楽章の後半になると、独唱、四重唱、合唱が加わります。音楽の構成とシラーの歌詞を確認しながら、ベートーヴェンが曲に込めた思いを考えましょう。 * 頌歌：賛歌、ほめたたえる詩。

序奏

管楽器によって激しい旋律が演奏されます。



ただ我々の絶望を思い起こさせるものだ。

第1楽章の回想

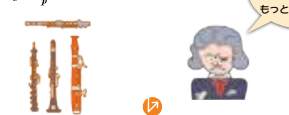
管楽器によって完全5度の響きが演奏される中で、弦楽器が第1楽章冒頭と同じ音型を演奏します。



これは遠く。私が求めているのは、もつと耳に心地よいものである。

第2楽章の回想

木管楽器によって3拍子の躍動的な旋律が演奏されます。



これも遠く。ただにやがてただ、もつと美しいものを。

第3楽章の回想

木管楽器によって穏やかな旋律が演奏されます。



これも遠く。愛しすぎる。

歓喜のモチーフ

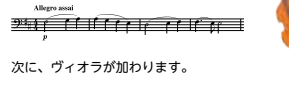
ようやく歓喜のモチーフが紹介されます。



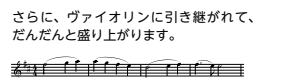
これだ。見つけた。私に歌ってみせて。

歓喜のメロディー

最初は、コントラバスとチェロによって、「歓喜のメロディー」が演奏されます。



次に、ヴァイオリンが加わります。



さらに、ヴァイオリンに引き継がれて、だんだんと盛り上がります。

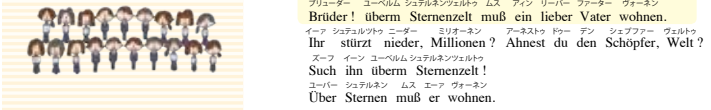


(Allegro)



フロイデ シューナー ガツテルフンケン トネター アース エリュースイウム
Freude, schöner Götterfunken, Tochter aus Elysium,
Wir betreten feuertrunken, Himmelsche, dein Heiligtum!
Deine Zauber binden wieder, was die Mode streng geteilt;
Alle Menschen werden Brüder, wo dein sanfter Flügel weilt.

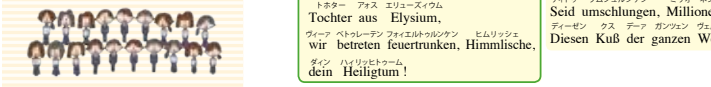
Andante → Adagio



ザイトウ ウムシユンゲン ミリオーネン テーゼン クス テーア コンツェン ヴェルト
Seid umschlungen, Millionen! Diesen Kuß der ganzen Welt!
Brüder! überm Sternenzelt muß ein lieber Vater wohnen.
Ihr stürzt nieder, Millionen? Ahnest du den Schöpfer, Welt?
Such ihn überm Sternenzelt! Ahnest du den Schöpfer, Welt?
Über Sternen muß er wohnen.

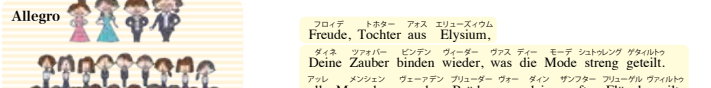
何百万人の人々よ、抱擁を受けよ！全世界のために口づけをしよう。
兄弟姉妹たちよ！星空の向こうに愛する神があらわれるのだ。

Allegro



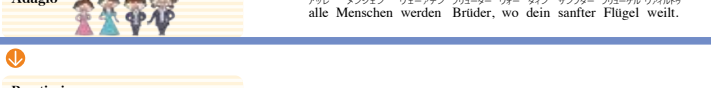
フロイデ シューナー ガツテルフンケン
Freude, schöner Götterfunken,
Tochter aus Elysium,
Wir betreten feuertrunken, Himmelsche,
dein Heiligtum!
Ihr stürzt nieder, Millionen? Ahnest du den Schöpfer, Welt?
Such ihn überm Sternenzelt! Brüder! überm Sternenzelt
muß ein lieber Vater wohnen.

Allegro



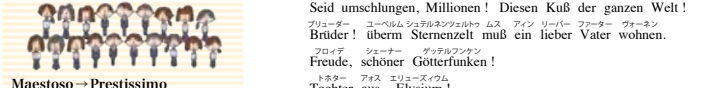
フロイデ トネター アース エリュースイウム
Freude, Tochter aus Elysium,
Deine Zauber binden wieder, was die Mode streng geteilt.
Alle Menschen werden Brüder, wo dein sanfter Flügel weilt.

Adagio



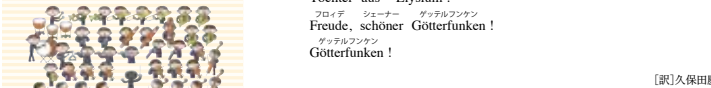
アッレ メンシエン ヴェーアデン フリュエーダー ヴーア デイン ザンフター フリュエーグル ヴァイルト
alle Menschen werden Brüder, wo dein sanfter Flügel weilt.

Prestissimo



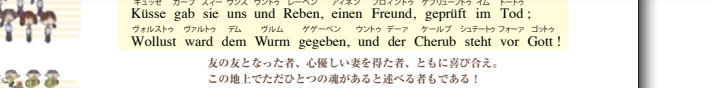
ザイトウ ウムシユンゲン ミリオーネン テーゼン クス テーア コンツェン ヴェルト
Seid umschlungen, Millionen! Diesen Kuß der ganzen Welt!
Brüder! überm Sternenzelt muß ein lieber Vater wohnen.

Maestoso → Prestissimo



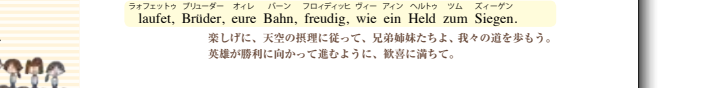
フロイデ シューナー ガツテルフンケン
Freude, schöner Götterfunken!
トネター アース エリュースイウム
Tochter aus Elysium!
フロイデ シューナー ガツテルフンケン
Freude, schöner Götterfunken!
ガツテルフンケン
Götterfunken!

Allegro



alle Guten, alle Bosen folgen ihrer Rosenspur.
Küsse gab sie uns und Reben, einen Freund, geprüft im Tod;
Wollust ward dem Wurm gegeben, und der Cherub steht vor Gott!
友の友となった者、心優しい者を得た者、ともに喜び合え。
この地上でたどった道が愛と運命とを結ぶ者でもある！
そしてこの歓喜を受け入れられない者は、
この群から泣く泣く立ち去らねばならない。
自然の恵みに全ての人々が喜び、善も悪も歓喜のバラの道に従う。
歓喜は我々に口づけと、ふどう酒と、死の試練をのりこえた友人を、
出づればは快楽が与えられた。すると天啓ケルゼムは神の前に立つ。

Allegro



フロー ヴァン ザーネ ソルネン フリゲル ドルヒヒ フス ヒンメルス フレヒトツン
Froh, wie seine Sonnen fliegen durch des Himmels prächt'gen Plan,
Lachend, Brüder, lauft, cure Bahn, freudig, wie ein Held zum Siegen.
笑しげに、天啓の摂理に従って、兄弟姉妹たちよ、我々の道を歩もう。
英雄が勝利に向かう進むように、歓喜に満ちて。

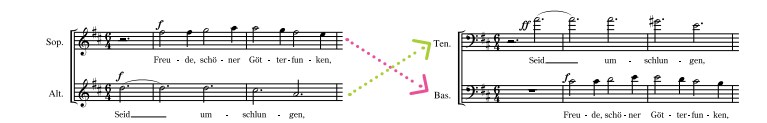
* Sop...ソプラノ、Alt...アルト、Ten...テノール、Bar...バリトン、Bas...バス

◆ Recitativo: 朗読のように歌う歌唱法。叙唱ともいう。

合唱によって「歓喜のメロディー」が歌われます。



ここでは2つのメロディーが同時に歌われます。1つ目は「歓喜のメロディー」です。2つ目は、Andanteの部分のメロディーです。これらは、ソプラノとアルトの組み合わせで歌われ、その後、音の高さを入れ替えて、テノールとバスの組み合わせで歌われます。



●オーケストラ、独唱、四重唱、合唱の組み合わせや、旋律及び歌詞の内容を確認しながら、音楽に込められたベートーヴェンの思いを感じ取り、話し合おう。

生きる源となった音楽の力

2019年、がん研究会の企画・主催で「がん患者さんが歌う第九チャリティコンサート」が開かれた。これは、がん患者さんを中心に、その家族と医療従事者が、オーケストラと一緒に《交響曲第9番》を合唱付きで演奏するというコンサートである。2人に1人ががんを患い、がんと闘う人がますます増える現代において、メンタルサポートを含めた患者本位の医療を提供していきたいという思いから発案された。

公募によって集まったがん患者さんたちは、治療の合間をみながら30回以上にも及ぶ練習を重ねた。がん患者さんにとって、2時間わたって声を出し続ける練習は非常に厳しいものだが、練習会場には笑い声があふれていた。参加者からは、「第9を歌うことが、これからの治療をがんばる原動力となる」「生きる喜びを歌い上げるエネルギーが、身体からわき起こってくるを実感する」という声があふれていた。

本番では、それぞれの思いをひとつにして歌い上げ、会場は盛大な拍手に包まれた。



藤岡幸夫(指揮)/日本フィルハーモニー交響楽団 2019年1月29日

●ヨハン・クリストフ・フリードリッヒ・フォン・シラー Johann Christoph Friedrich von Schiller(1759~1805)は、ドイツ古典主義を代表する劇作家、詩人、哲学者。文学にとどまらず歴史、哲学、美学にまで及ぶ幅広い著作を残した。

他にも……

●現代的な社会問題を扱った音楽作品の鑑賞を通して、自分たちが生きる現代社会について考えを深めます。

例：教科書 p.48-49 ミュージカル《ウエストサイドストーリー》

●音楽に関する知的財産権についての基本的な考え方を学び、身近なケースを例に理解を深めます。

例：教科書 p.126-127 「音楽に関する知的財産権=著作権」

◎学習に役立つ QR コンテンツを充実させました。

いくつかの外国語曲では、
原語歌詞の朗読を視聴することができます。



伝統音楽などの
体験活動のお手本を視聴することができます。



コードの弾き方（ギター・キーボード）を
視聴することができます。



定番の教材は残したまま、
学びを深める新しい教材を充実させました。

QRコンテンツのリスト

- p.2 [音楽って何だろう?]各人のプロフィール、解説
- p.10 ビッグイシューを応援するイベント「りんりんふえす」の概要
- p.14 《黒い猫が欲しかった》原語歌詞発音
- p.16,17 《野ばら》原語歌詞発音
- p.18 《愛の讃歌》原語歌詞発音
- p.22 ギターの奏法、解説、《Happy Birthday To You》演奏
- p.24 ホローポの解説、演奏
- p.26,121 箏の奏法、解説、《六段の調》演奏、唱歌
- p.32 「音楽って何だろう?①頭の準備体操」サンプル音源
- アザーンの様子
- p.34 メヌエットのステップの解説、実演
- p.35 チェンバロの解説、《タンブラン》演奏
- p.40 《菩提樹》の舞台アレンドルフの風景
- 《菩提樹》原語歌詞朗読
- p.42 「ピアノに挑戦」、《ポロネーズ第6番》演奏
- p.54 リクインディ(水太鼓)の演奏
- フラ・カヒコの代表曲《ウラノヴィオ》の踊りの解説、実演
- p.56 ガムランの各楽器の解説、《ランチャラン マニャルセウ》演奏
- p.58 音楽旅行記の作り方
- イタラケのお祭りの様子
- p.60 《陵王乱序》の解説、唱歌、演奏
- p.62 能の典型的な形式「呂中干」の解説、唱歌、演奏
- p.64 長唄《京鹿子娘道成寺》「鈴太鼓」の場面の演奏
- p.120 三線の解説、《ていんさぐぬ花》演奏
- p.124 「音楽って何だろう?④リズムについて」参考楽譜
- インドの拍子「ルーパクター」の手拍子
- p.126 JASRAC「音楽著作権とは」
- p.156 ギターとキーボードによるコードの実演
- p.166 「音楽って何だろう?」ガッシャープルムⅡへの道のり

目次 Contents

音 音楽って何だろう?①	久保由慶一	2
音 表現とは、頭と体を使った他者との対話	森山未来	4
歌唱		
翼をください	山上路夫作詞/村井邦彦作曲	8
魔法みたいに	寺尾紗穂作詞・作曲	10
この道	北原白秋作詞/山田耕伴作曲	12
黒い猫が欲しかった	F.S.マレスカ、A.ソリテッロ、フラマリオ作詞/F.パガーノ作曲	14
野ばら	J.W.v.ゲーテ作詞/H.ヴェルナー作曲	16
野ばら	J.W.v.ゲーテ作詞/H.ヴェルナー作曲	17
愛の讃歌	E.ピアフ作詞/M.モノ作曲	18
器楽		
クラシックカルテット 第1番	長谷部隆俊作曲	20
Happy Birthday To You	P.S.ヒル、M.J.ヒル作詞・作曲	22
ホローポによるリズムゲーム		24
六段の調 初段	(伝)八橋操校作曲	26
創作		
詩、短歌、俳句をもとにして音楽をつくろう		28
音 音楽って何だろう?① 頭の準備体操	全く音を出さない演奏者 美しい響きと旋律、けれども「音楽」ではない	32
鑑賞		
メヌエット	コメディレ(真顔のよい悪人たち)から	34
タンブラン	(クラヴサン曲集)から	35
交響曲第9番 第4楽章	ベートーヴェン作曲	36
菩提樹	連作曲集(冬の旅)から	40
ポロネーズ第6番	(英雄) ショパン作曲	42
オペラ 椿姫	ヴェルディ作曲	44
交響詩 魔法使いの弟子	デュカス作曲	46
ミュージカル ウェストサイドストーリー	バーンスタイン作曲	48
混声合唱とオーケストラのためのカンタータ 土の歌	大木博夫作詞/佐藤 眞作曲	50
音 音楽って何だろう?②	さまざまな音楽のあり方	54
鑑賞		
ガムラン ランチャラン マニャルセウ		56
音楽旅行記 地球の裏側の音楽を求めて〜ポリビア〜		58
雅楽 陵王	～舞楽～	60
能 高砂	世阿弥作	62
歌舞伎 京鹿子娘道成寺	藤本武文作詞/初世伴左三郎作曲/初世伴左十郎補曲	64
沖縄 奄美群島のさまざまな音楽		66
音 音楽って何だろう?③	音楽の向こう側にいるもの	68

歌唱		
【世界の歌】		
半月	伊勢田作詞・作曲	70
ねずみは米が好き	稲 臣剛作詞・作曲	71
オーシャンゼリゼ	P.ドラノ作詞/M.ウィルショー、M.ディガン作曲	72
平原の魂	R.B.コ罗纳ード作詞/P.E.グティエレス作曲	73
独唱		
さびしいカシの木	やなせたかし作詞/木下敬子作曲	74
カーロミオベン	作詞者不明/G.ゾルダニ作曲	76
我が太陽	G.カプロ作詞/E.d.カープア作曲	78
アヴェマリア	A.シュトルク独語詞/F.シューベルト作曲	80
君を愛す(優しい愛)	K.F.W.ハロー作詞/L.V.ベートーヴェン作曲	82
歌の翼に	久野静夫日本語詞/F.メンデルスゾーン作曲	84
誰も寝てはならぬ	G.アゲーミ、R.シモノ作詞/G.フッチーニ作曲	86
乾杯の歌	F.M.ピアヴェ作詞/G.ヴェルディ作曲	88
私を泣かせて	G.ロッシ作詞/G.F.ヘンデル作曲	90
かつて木陰は	N.ミナート作詞/G.F.ヘンデル作曲	91
合唱など		
荒城の月	三 土井忠雄作詞/滝 廣太郎作曲	92
ふるさと	高野辰之作詞/岡野貞一作曲	94
時の旅人	深田じゅんこ作詞/橋本祥路作曲	95
大地讃頌	大木博夫作詞/佐藤 眞作曲	98
野ばら	近藤彌生日本語詞/H.ヴェルナー作曲	100
アヴェヴェルム コルプス	作詞者不明/W.A.モーツァルト作曲	102
荒れ野に御使い	三 土井忠雄作詞/滝 廣太郎作曲	103
Amazing Grace	J.ニュートン作詞/アメリカの古い旋律	104
カンタリー ロード	三 B.ダノフ、T.ニヴァート、J.デンヴァー作詞・作曲	106
風に吹かれて	三 B.ディラン作詞・作曲	107
A Whole New World	三 T.ライオナルド/A.メンケン作曲	108
Tonight	三 S.ソンドハイム作詞/L.バーンスタイン作曲	109
Oh Happy Day	三 E.ホーキンス作詞・作曲	110
器楽		
威風堂々	E.エルガー作曲	112
木星	G.ホルスト作曲	113
America	L.バーンスタイン作曲	114
Imagine	J.レノン作詞・作曲	116
いつも何処でも	三 見 和歌子作詞/木村 弓作曲	118
ていんさぐぬ花	三 沖繩県民謡	120
六段の調 初段	(伝)八橋操校作曲	121
創作		
【きらきら星】の旋律で音楽をつくろう		122
音 音楽って何だろう?④	リズムについて	124
資料		
音楽に関する知的財産権=著作権		126
西洋音楽史		128
ポピュラー音楽のジャンル		138
日本音楽の流れ		140
日本の民謡と民俗芸能		142
楽器の図鑑		144
音楽史年表		146
西洋音楽の楽典		150
オーケストラの編成		158
楽器の奏法		160
イタリア語の発音		162
ドイツ語の発音		163
フランス語の発音		164
音 音楽って何だろう?		166

…テキスト …音声 …画像 …動画

これらのマークがある項目は、以下のウェブサイトから学習に役立つさまざまなコンテンツを見ることができます。

https://textbook.kyogei.co.jp/fts/r4_k1/index.html

同声合唱の曲は、混声、女声、男声、いずれの形態でも演奏できる。

年間指導計画例

月	配時	題材名	題材のねらい	学習目標	主な教材	主な学習活動	学習指導要領の内容												内容の取扱い			
							A表現						B鑑賞		〔共通事項〕							
							(1)歌唱			(2)器楽			(3)創作		(1)鑑賞		音楽を形づくっている要素					
ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	音色	リズム	速度	旋律	テイクアップ	強弱	形式	構成				
4 5 6 7	4	正しい発声を身に付けて、豊かな響きで歌おう	歌うときの基本的な姿勢や呼吸、発声を身に付け、自己のイメージをもって歌詞の内容を理解し、曲にふさわしい発声で表現を工夫して歌う	バランスのよい姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方を理解し、曲のイメージをもち、曲想と歌詞との関わりや旋律の特徴、言葉の抑揚を理解して、表現を創意工夫して歌う	校歌／翼をください 歌唱のポイント① 歌唱のポイント② 魔法みたいにノ歌の翼に	・歌うときの姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方に注意して、音楽表現を工夫して歌唱する ・歌詞の内容を深く捉え、曲想との関わりを理解し、曲のもつ雰囲気や味わいを理解して歌唱する ・旋律の特徴や言葉の抑揚を理解して、イメージに合った表現を工夫する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2)(4)(5)(8)
		音色を工夫したり、リズムパターンを変化させたりしてリズム合奏を楽しもう	リズム奏に用いる打楽器の組み合わせを工夫して豊かな音色で表現したり、リズムパターンを即興的に変化させたりして、ダイナミックなリズム合奏をする	手拍子やボディーパーカッション、唱歌(しょうが)、打楽器などを用いて、音色を工夫したり、リズムパターンを即興で変化させたりして、リズム合奏の表現を創意工夫して演奏する	クラッピング カルテット第1番 ホローポによるリズムゲーム 音楽って何だろう?④リズムについて	・リズムパターンを躍動感をもって表現する ・手拍子やボディーパーカッション、唱歌、打楽器などを組み合わせて、リズムパターンを音色豊かに、生き生きと演奏する ・反復、変化、対照などの手法を活用して、リズムパターンを即興で変化させて演奏する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2)(4)(5)(8)
	6	詩、短歌、俳句をもとにして、イメージを膨らませて音楽をつくろう	詩、短歌、俳句をもとにして、自分のイメージを膨らませながら、サウンド系の音楽またはメロディー系の音楽をつくる	自分にとってイメージの湧きやすい、詩、短歌、俳句を選び、音楽のもとになる「サウンドピース」や「メロディーの骨格」をつくり、それを表現したいイメージに合わせて音楽をつくる	詩、短歌、俳句をもとにして音楽をつくろう	・詩、短歌、俳句などをもとにイメージを膨らませて、音楽で表現する ・音楽材を選び、「サウンドピース」や「メロディーの骨格」をつくる ・音楽を形づくっている要素を手がかりに、自分のイメージに合うように音楽をつくる	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2)(3)(4)(7)(8)(10)	
	6	日本語の響きや歌詞の内容、曲の背景を理解して、ふさわしい歌声で表現しよう	日本語を美しく歌うため、鼻濁音やs音、t音などの子音に注意して歌唱する。また、歌詞の内容や曲の背景を理解して、情景を思い描いて詩情に合った歌唱表現を工夫する	鼻濁音やs音、t音などの子音の発音について学ぶとともに、歌詞の内容を理解し、ディナーミクなどに注意して曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う	この道 歌唱のポイント③ さびしいカシの木	・鼻濁音やs音、t音などの子音に注意し、日本語の美しい発音に留意して歌う ・歌詞の内容を理解し、作曲者のディナーミクの指示のもとに、ふさわしい表現を工夫して歌う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2)(4)(5)	
	2	これは音楽だといえるだろうか?音楽って何だろう?	ふだん何げなく接したり表現したりしている音楽について、あらためて問うことで、さまざまな音楽と音楽観を敷衍し、生涯にわたって音楽と関わっていく心を育むことを目指す	身の回りのさまざまな音を聴き、「音楽とは何か」を考え、ジョン・ケージの《4分33秒》やアザーンを例に、さまざまな音楽のあり方に気付く	表現とは、頭と体を使った他者との対話 音楽って何だろう?①頭の準備体操	・身の回りのさまざまな音を聴いて、自分の考える音楽のイメージに当てはまるかどうかを評価する ・音楽の目的や、「音楽とは何か」を考える ・《4分33秒》を体験したあとで、音楽についてもう一度話し合う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2)(4)(8)(10)	
	4	ガムラン(ランチャラン マニャルセウ)の音楽の構造を理解し、ガムラン音楽とインドネシアの風土や気候との関わりを考えよう	ガムランを特徴付ける楽器の音色やリズムの周期を理解し、インドネシアの自然から、ガムランがどのような影響を受けたかを考える	ガムランの楽器や1周期16拍の4周期分かなる骨格旋律などの特徴を理解して《ランチャラン マニャルセウ》を鑑賞し、ガムラン音楽が育まれたジャワ地域の風土や気候との関わりについて関心をもつ	ガムラン ランチャラン マニャルセウ	・ガムランの楽器の名称とそれぞれの役割を理解する ・楽器とリズムの組み合わせや、骨格旋律について理解する ・ジャワ島地域の自然と音楽の関わりについて考える	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2)(4)(8)(9)(10)	
9 10 11 12	4	カンタータ(土の歌)の歌詞や曲全体の構成を理解し、《大地讃頌》の合唱表現に生かそう	カンタータ(土の歌)全曲における《大地讃頌》の位置付けを理解し、この曲に込められた作詞者と作曲者の思いを感じ、表現を工夫して合唱する	各楽章の歌詞の内容を理解し、最終楽章の《大地讃頌》に込められた思いを考え、オーケストラ版とピアノ伴奏版の《大地讃頌》の表現の違いを踏まえて合唱する	カンタータ 土の歌(鑑賞) 大地讃頌(合唱)	・歌詞の内容、各楽章の関連や位置付けを理解する ・《大地讃頌》に込められた思いを考える ・オーケストラ版とピアノ伴奏版の《大地讃頌》の表現の違いを踏まえて合唱表現を工夫する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2)(4)(5)(8)	
	2	イタリア語の発音の特徴を捉え、曲の雰囲気を楽しみながら歌おう	イタリア語の発音の特徴を捉え、リズムや旋律との関わりを理解し、歌詞の内容と曲の雰囲気に合った表現を工夫して歌う	イタリア語の発音の特徴や、リズムや旋律との関わりを理解し、歌詞の内容にふさわしい表現を創意工夫して歌う	黒い猫が欲しかった 歌唱のポイント④	・イタリア語の発音の特徴を理解する ・イタリア語のアクセントやリズムや旋律との関わりを理解する ・歌詞の内容を理解し、表現を工夫する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2)(4)(5)		
	2	2人の作曲家による《野ばら》を、それぞれの雰囲気を生かして歌おう	ドイツ語の発音や、その強弱によるリズムと旋律との関わりを理解し、2つの《野ばら》をそれぞれの曲にふさわしい表現で歌う	ドイツ語の発音やその強弱によるリズムと旋律との関わりを理解するとともに、同じ詩を用いた2つの《野ばら》を、それぞれの曲にふさわしい表現で歌う	野ばら(シューベルト) 野ばら(ヴェルナー) 歌唱のポイント⑤	・ドイツ語の発音を学び、ゲーテの詩「野ばら」の内容を理解する ・ドイツ語の強弱によるリズムと旋律との関わりを理解する ・歌詞の内容や雰囲気を理解して2つの《野ばら》を工夫して歌う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2)(4)(5)		
	4	《六段の調》の唱歌をよく聴いて覚え、箏の演奏に生かそう	五線譜ではなく、伝統的な縦譜や唱歌を用いることで、箏の音楽に特有な旋律の捉え方や余韻の変化、間を理解し、演奏に生かす	縦譜の読み方や箏の構造、奏法を学び、《六段の調》の唱歌を歌うことで旋律の動きや余韻の変化、間などを理解し、箏の特徴を生かして演奏する	六段の調 初段(p.26-27) 六段の調 初段(p.121)	・縦譜の読み方や箏の構造、奏法を学ぶ ・《六段の調》の唱歌を学び、旋律の動きを理解する ・唱歌と箏の奏法を理解し、唱歌を歌いながら箏を練習する ・余韻の変化や間を理解し、表現を工夫して演奏する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2)(4)(5)(6)(9)		
	3	日本の民謡や民俗芸能の特徴を知って、沖縄・奄美群島のさまざまな音楽を聴いてその特徴を感じ取ろう	日本にはどのような民謡や民俗芸能があるかを知り、民謡を通して日本の音階やリズム様式を理解したうえで、沖縄・奄美群島のさまざまな音楽を聴いてその特徴を感じ取る	日本の民謡や民俗芸能の分類を知り、民謡で用いられる音階やリズム様式を理解したうえで、沖縄・奄美群島のさまざまな音楽を鑑賞し、そこで用いられる楽器、衣装、踊りなどの特徴を理解する	日本の民謡と民俗芸能 沖縄・奄美群島のさまざまな音楽 音楽って何だろう?④リズムについて	・日本の民謡や民俗芸能の分類を学び、民謡で用いられる音階やリズム様式を理解する ・沖縄・奄美群島のさまざまな音楽を鑑賞する ・音楽だけでなく、用いられる楽器、衣装、踊りなどの特徴を理解する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2)(4)(8)(9)		
	2	物語と音楽との関わりを理解し、《魔法使いの弟子》で作曲家が工夫したことを探求しよう	作曲家がどのような工夫をして、物語に登場する人や物を音楽で表現しているかを考える	作品に影響を与えたゲーテの詩「魔法使いの弟子」を読み、情景を思い浮かべながら曲を鑑賞し、登場する人や物、物語のシーンがどのように音楽で表現されているかについて、考察する	交響詩 魔法使いの弟子	・ゲーテの詩「魔法使いの弟子」を読み、情景を思い浮かべながら曲を鑑賞する ・登場する人や物、物語のシーンがどのように音楽で表現されているかについてグループで話し合う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2)(4)(8)		
4	オペラ《椿姫》に描かれた社会のあり方を理解してオペラならではの表現を感じ取り、《乾杯の歌》を歌おう	実在した人物をモデルに描かれたオペラ《椿姫》を、当時の社会背景とともに理解し、登場人物の心情がオペラでどのように描かれているかを考察したうえで、《乾杯の歌》を歌う	オペラ《椿姫》のあらすじと登場人物の心情、当時の社会背景を理解して、これらがどのようにオペラで描かれているかについて理解を深め、《乾杯の歌》を創意工夫して歌う	オペラ 椿姫 乾杯の歌	・《椿姫》のあらすじと登場人物の心情、当時の社会背景を理解する ・各幕の代表的な場面を鑑賞し、登場人物の心情がどのように描かれているかについて話し合う ・《乾杯の歌》をイタリア語で歌う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2)(4)(8)			
3	能《高砂》の詞章を誦したり、「呂中干」の唱歌を唄ったりして、能の音楽の特徴を感じ取ろう	世阿弥が作能した《高砂》を聴いたり、よく知られた詞章を誦したりすることで能に親しみ、舞の部分で演奏される笛の唱歌「呂中干」を唄うことで、能の音楽のよさや美しさを深く味わう	能の音楽様式を学び、能《高砂》のあらすじを知ったうえで《高砂》を誦し、舞の部分で演奏される笛の唱歌「呂中干」を学んで、シテの舞と囃子の掛け合いの部分を鑑賞する	能 高砂	・能の音楽様式を学び、能《高砂》のあらすじを知り、《高砂》を誦す ・笛の唱歌「呂中干」を学び、シテの舞と囃子の掛け合いの部分を鑑賞する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2)(4)(6)(8)(9)			
4	ベートーヴェンの交響曲第9番第4楽章を聴いて、この曲に込められた作曲者の思いを話し合おう	この曲が器楽と声楽による表現が融合した作品であることを理解し、「歓喜のメロディー」の登場の仕方や、それに付けられた歌詞の内容と合わせて、作曲者がこの曲に込めた思いを話し合う	ベートーヴェンの交響曲第9番第4楽章の曲の構成やシラーによる歌詞の内容を理解して、音楽に込められた作曲者の思いについて話し合い、考えを深める	交響曲第9番 第4楽章	・曲の構成や歌詞の内容を理解する ・オーケストラ、独唱、四重唱、合唱を伴った壮大な音楽の世界を味わう ・この曲に込められた作曲者の思いを話し合う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2)(4)(8)			
1 2 3	6	《ウエストサイドストーリー》の社会背景を理解して鑑賞し、《Tonight》を歌い、《America》の器楽合奏を楽しもう	《ウエストサイドストーリー》の舞台となったアメリカの社会問題を理解して鑑賞し、代表的なナンバーの《Tonight》を歌ったり《America》を器楽合奏したりして、ミュージカルのおもしろさを感じ取る	作品のテーマとなっているアメリカの社会問題を理解し、代表的なナンバーを創意工夫して演奏し、ミュージカル《ウエストサイドストーリー》の登場人物の心情を感じ取る	ミュージカル ウエストサイドストーリー Tonight America	・アメリカの社会問題を理解してミュージカル《ウエストサイドストーリー》を鑑賞し登場人物の心情を感じ取る ・《Tonight》を創意工夫して歌唱する ・《America》を創意工夫して器楽合奏する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2)(4)(8)(9)		
	4	歌詞に込められた主張を受け止めて歌おう	ポピュラー音楽のジャンルや歌詞に込められたアーティストの主張を理解して、歌い方や表現を工夫するとともに、芸術活動を支える著作権についての理解を深める	ポピュラー音楽のジャンルや、歌詞に込められたアーティストの主張を理解し、曲にふさわしい歌い方や表現を創意工夫し、ポピュラー音楽に親しみると同時に、芸術活動を支える著作権について理解を深める	風に吹かれて Imagine ポピュラー音楽のジャンル 音楽に関する知的財産権=著作権	・ポピュラー音楽のジャンルを理解する ・英語歌詞の内容についてその背景を含めて理解する ・歌詞の内容にふさわしい表現を考えて演奏する ・芸術活動を支える著作権について理解する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2)(4)(8)(9)(11)			
	3	舞楽《陵王》の構成を理解し、打物と箏の唱歌を聴き、雅楽の雰囲気を感じ取ろう	舞楽《陵王》を鑑賞して、舞人登場の音楽(陵王乱序)の打物や箏の唱歌を学び、箏の旋律をリコーダーで輪奏することを通して、舞楽《陵王》の構成やその特徴を理解する	舞楽《陵王》の構成を理解し、《陵王乱序》の唱歌を聴き、身近な楽器で打物のリズムを演奏したり、リコーダーで箏の追吹の旋律を輪奏することを通して、日本の伝統音楽である雅楽に親しむ	雅楽 陵王～舞楽～ 日本音楽の流れ	・舞楽《陵王》の構成を理解する ・舞楽《陵王》の舞と器楽演奏の関わりを学び、《陵王》の特徴を理解する ・追吹部分の打物と箏の唱歌を聴き、身近な楽器で打物のリズムを演奏したりリコーダーで箏の旋律を輪奏したりする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2)(4)(6)(8)(9)			
	3	変奏や編曲に挑戦して、つくった作品を発表しよう	グループに分かれ、《きらきら星》の旋律をもとに変奏曲をつくったり、編曲したりして、完成した作品を発表する	変奏や編曲について理解するとともに、《きらきら星》の旋律を創意工夫して器楽アンサンブルに編曲し、創作や器楽合奏に親しむ	《きらきら星》の旋律で音楽をつくろう	・イメージをもって《きらきら星》の旋律を変奏する ・つくった《きらきら星》の変奏曲を器楽アンサンブルに編曲する ・完成した作品をグループごとに発表する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2)(3)(4)(7)(8)			

指導書について

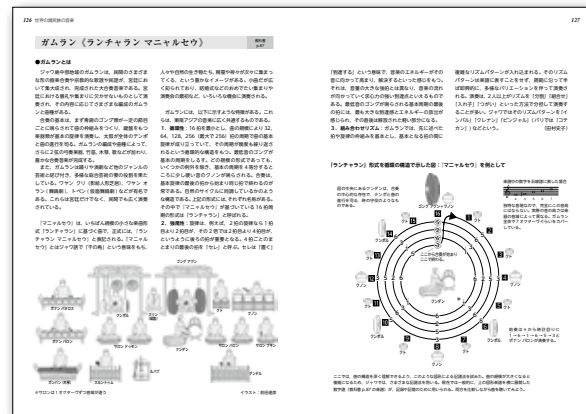
■セット内容 B5判セットケース入、定価 18,700円(本体 17,000円+税 10%)

- ①研究資料編
- ②楽譜資料編
- ③指導用・鑑賞用CD(5枚組)

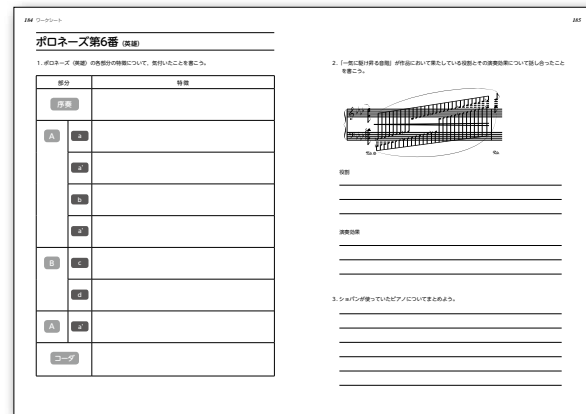
①研究資料編

年間指導計画例、学習指導案例、授業を多角的にサポートする解説・資料、授業に役立つワークシートを掲載しています。

◆解説・資料の例



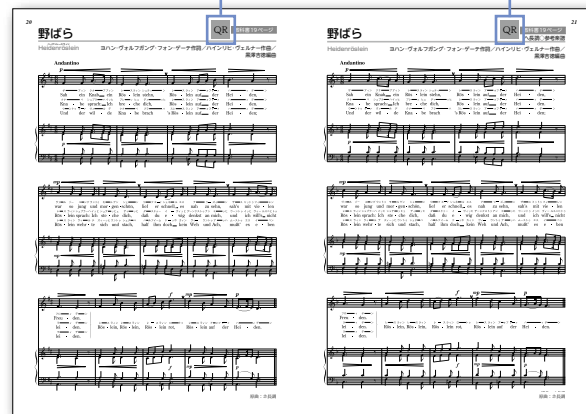
◆ワークシートの例



②楽譜資料編

歌唱教材の伴奏譜の他、簡易伴奏譜、移調譜、教科書の編成とは別の編曲なども掲載しています。

◆例



■QRコードから伴奏音源にアクセスできます。

③指導用・鑑賞用CD(5枚組)

主な歌唱教材の範唱、参考演奏、原語歌詞の朗読、器楽教材の範奏、鑑賞教材を教科書の目次順に掲載しています。

※ここに掲載している紙面の画像は編集前のもので、内容やデザインは変更する場合があります。

検討の観点別にみた特色

	観点	教科書の特色
範囲	●取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。	●多様なジャンルから精選された教材によって必要な内容が十分に扱われており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。
程度	●教材は、生徒の心身の発達段階や能力の実態に適切しているか。	●歌唱教材においては生徒の心情的な発達段階に応じた楽曲を、器楽教材においては技術的に平易な楽曲を取り上げている。創作教材においては、生徒が取り組みやすい内容で、具体的な手順を示している。また、鑑賞教材においては着眼点を明確に示すなど、生徒の能力の実態に即した適切な内容になっている。
内容	●教材の選択及び扱いは、学習指導を進めるうえで適切であるか。	●明確な学習の観点のもと、幅広く変化に富んだ学習活動を行うことのできる教材が用意されており、生徒が、音楽の多様性を理解し、音楽的な見方・考え方を身に付けて、音楽のよさや美しさを味わい、音楽文化に親しむ態度を養うことができるよう配慮されている。
	●三つの柱を踏まえて、基礎的・基本的な学力の定着について適切な配慮がなされているか。	●教材の内容は、三つの柱(「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」)と相互に関連付けられており、さまざまな参考資料を収録するとともに、基礎的・基本的な内容を学習できるよう工夫されている。また、鑑賞においては楽曲の構成や文化的・歴史的背景が分かりやすく解説されており、確実に学習活動が進められるように配慮されている。
	●説明文やイラスト、写真などは、学習を進めるうえで適切であるか。	●説明文は平易な言葉で書かれており、その配置も工夫されている。 ●イラストや写真の取り上げ方はアイディアにあふれ、音楽的な見方・考え方の育成や知的理解の深化に配慮されている。
	●生徒が音楽やその背景にある社会やさまざまな文化に興味・関心をもち、「主体的・対話的で深い学び」の学習活動に取り組みよう工夫されているか。	●教材には、表現する際のポイントや、音楽の背景にある社会や文化について分かりやすく説明したコラムが設けられており、表現の工夫や音楽理解を促すとともに、「主体的・対話的で深い学び」の学習活動に取り組みよう工夫がなされている。
	●我が国や郷土の伝統音楽及び音楽文化に対する配慮がなされているか。	●創作活動においては、生徒の能力に応じて弾力的な指導を進められるよう配慮されている。 ●小学校、中学校における「音楽づくり」「創作」の学習内容や、学習指導要領に示された指導事項を踏まえながら、時間的、能力的に無理なく取り組める教材が、具体的な手順を示して取り上げられている。 ●歌唱教材においては、古くから歌い継がれている曲を複数取り上げ、器楽教材においては楽器の奏法などについて唱歌を伴って分かりやすく解説している。また、鑑賞教材においては伝統芸能や沖縄・奄美群島の音楽などを取り上げており、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成できるよう配慮されている。
全体の構成	●教材は系統的、発展的に組織されているか。	●各教材の冒頭ページに縦書きで示された学習目標に基づいて、教材が系統的・発展的に配置されており、確実に学習を進められるよう配慮されている。
	●小学校、中学校における学習内容との系統性・一貫性について配慮がなされているか。	●小学校、中学校の義務教育における音楽科の目標を継承し発展した内容の教科書となっている。 ●歌い継いでいきたい日本の歌が、小学校、中学校から一貫して取り上げられている。
	●各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てるための配慮がなされているか。	●芸術歌曲やクラシック音楽だけでなく、ポピュラー音楽やミュージカル、民族音楽などさまざまなジャンルの音楽を教材として取り上げており、学習の深化や相互の関連付けを容易に行うことができ、各学校や生徒の実態に応じた柔軟な学習指導計画を立てられるよう配慮されている。
記述	●教材の配列は単なる羅列ではなく、楽曲の性格に即して適切であるか。	●領域や分野ごとに平易な曲を中心として教材が配列されており、学習の理解や深化を図りやすいよう配慮されている。
	●教材の分量は適切であるか。	●精選された教材が過不足ない分量で扱われており、各学校や生徒の実態に応じて柔軟に対応できるよう配慮されている。
人権	●ユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。	●全体に区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。
	●国際理解、情報、環境、人権教育など、社会的及び道徳的教育課題の扱いについて、適切な配慮がなされているか。	●全体を通して、人権教育について適切に配慮されている。また、歌唱教材や鑑賞教材においても、諸外国の音楽文化に対する理解を深めることができるよう配慮されている。 ●音楽に関する知的財産権については、「音楽に関する知的財産権＝著作権」と題し、分かりやすく解説されている。
体裁	●全体の体裁は教科書として適切であるか。	●A4変型判で楽譜が見やすく、紙面のレイアウトも統一感があり、教科書として適切なものとなっている。 ●教科書の内容をイラストで表現した表紙からも高校生に向けてのメッセージが感じられるよう工夫されており、音楽に親しみやすい体裁となっている。
	●印刷・製本などは適切であるか。	●カラーページとモノクロページに分かれたすっきりした紙面であるとともに、楽譜、文字、イラスト、写真などの印刷の発色もよく、鮮明なものとなっている。 ●製本は長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。 ●再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工を施すなど、環境にも十分な配慮がなされている。

「高校生の音楽 1」執筆者

【監修】

小原光一(元横浜国立大学教授)

【監修・執筆】

久保田慶一(元東京学芸大学・国立音楽大学教授)

【執筆・編集】

小沼純一(早稲田大学教授)

薦田治子(武蔵野音楽大学教授)

田中多佳子(京都教育大学教授)

鹿谷美緒子(作曲家)

長谷部匡俊(作曲家)

佐井孝彰(作曲家)

三宅悠太(作曲家)

【編集協力】

相田 豊(東京大学総合文化研究科博士課程)

新井裕子(宗教音楽)

石橋 純(東京大学教授)

市瀬陽子(聖徳大学准教授)

今藤政太郎(長唄 三味線)

梶井龍太郎(東海大学教授)

加藤浩子(音楽評論)

川本聡胤(フェリス学院大学准教授)

久万田 晋(沖縄県立芸術大学教授)

古賀まみ奈(フラ)

近藤静乃(東京芸術大学非常勤講師)

白石美雪(武蔵野美術大学教授)

関根敏子(音楽学)

高桑いづみ(東京文化財研究所特任研究員)

滝口幸子(城西国際大学准教授)

谷口昭弘(フェリス学院大学教授)

田村史子(元筑紫女学院大学准教授)

菅木宏幸(ギター)

辻 康介(声楽)

土田健次郎(元早稲田大学教授)

中村仁美(雅楽 箏)

布川雅英(神田外語大学准教授)

長谷川 慎(静岡大学准教授)

牧野 翔(ボリビア音楽)

矢野原佑史(京都大学アフリカ地域研究資料センター科研研究員)

山村敏江(神田外語大学日本研究所客員研究員)

吉澤 実(リコーダー)

第1表

高等学校用教科書需要票

見本

発行者	番号	27	略称	教芸	需要数	生徒用	150	冊
	教科書	記号	音I	番号		702	教員用	2
		書名	高校生の音楽 1					

所在地

学校名

電話

(全日制・定時制・通信制)

別売 映像資料 価格 各 19,800円(本体 18,000円+税 10%)

教科書に掲載されている「日本の伝統音楽」及び「世界の諸民族の音楽」の授業の参考となる資料を販売しています。

音楽鑑賞DVD

日本の伝統芸能編

- DVD 1枚/収録時間 126分
- 雅楽、琵琶楽、能楽、文楽、歌舞伎から14演目(曲)を収録

高等学校音楽鑑賞DVD

民族編

- DVD 1枚/収録時間 146分
- 38カ国、59曲を収録
- 民族音楽研究家、江波戸 昭先生の解説付き

音楽鑑賞Blu-ray Disc

世界の民族音楽

- Blu-ray 1枚/収録時間 202分
- 49カ国、86曲を収録
- 全ての映像について、研究者によるライナーノート付き



- 本社 〒171-0051 東京都豊島区長崎 1-12-14 TEL. 03-3957-1175(代)
- 中部支社 〒460-0024 名古屋市中区正木 4-8-7 れんが橋ビル 8F TEL. 052-678-3151(代)
- 関西支社 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央 1-14-17-601 TEL. 06-6943-7245(代)
- 西部支社 〒751-0808 下関市一の宮本町 2-7-14 TEL. 083-256-4747(代)

ホームページ・アドレス <https://www.kyogei.co.jp/>